建設改良費抑制の検討

資料５－２

投資財政計画における管路更新については、管路の経年化、管種、埋設環境、重要度を合理的に勘案して位置付けたものですが、先進技術の結果を用いて、建設改良費の抑制を検討するものです。

人工衛星データを利用した漏水リスク評価の活用

令和７年度より、漏水調査の効率化を目的とした、人工衛星データを利用した漏水リスク評価業務委託を実施しています。
令和 10 年度、令和 11 年度の更新を予定している管路について、漏水リスク評価結果を考慮し、更新箇所の再検討を行います。

漏水リスク管理システム



漏水リスク評価を見える化する解析サービス ＋ 漏水地点管理システム

川越市全管路漏水リスク評価結果（令和７年度）

リスク値	配水管(km)	配水管の割合(%)	管路の状態
リスクE	14.8	1.0	漏水確率が非常に高い
リスクD	77.8	5.2	漏水確率が高い
リスクC	111.4	7.4	漏水確率が中程度
リスクB	281.5	18.7	漏水確率は低い
リスクA	1,018.2	67.7	漏水確率は極めて低い
合計	1,503.7	100.0	

令和 10 年度～令和 11 年度に更新対象としていた管路について、上記評価結果を用いて漏水リスクが低い管路と判定された約 1.72 km（更新予定延長 39.25 kmの 4.4%）について更新を見送ります。これにより、2 箇年で約 4.1 億円の建設改良費の抑制となります。
なお、更新を見送った管路については、定期点検し、必要に応じて修繕を行うことにより、安全を確保してまいります。

	更新予定延長（km）	先送り延長（km）	抑制金額（千円）
令和１０年度	19.29	0.98	228,800
令和１１年度	19.96	0.74	181,500
計	39.25	1.72	410,300